公益財団法人新潟市スポーツ協会
令和６年度第２回評議員会議事録

１．日時　　令和７年３月２６日（水）　　自１６時００分　　至１６時５０分
２．場所　　新潟市陸上競技場 第３会議室（新潟市中央区一番堀通町３－１）
３．評議員現在数及び定足数
　　現在数　５０名　　定足数　２６名
４．出席状況
（１）出席評議員（３０名）
髙橋　　努、中野　晶博、柴田　秀嗣、大林　昌智、田中　　量、加藤　　祥、
増田　　進、伊藤　　正、平田　和夫、玉木　駿佑、伊東　博孝、鈴木　　明、
法龍院　充、遠藤　康晴、近藤　泰則、齋藤　研策、坂本　和幸、佐々木篤行、
立川喜代博、小関　砂織、吉村　良平、土田　公一、加納　幹久、早見　和夫、
関谷美恵子、高岡美代子、川口　恒雄、原野　　司、渡部　沖広、山崎　友章
（２）欠席者（２０名）
小野　瑞樹、菊池　和雄、北村　京子、熊川　　大、湊谷　　喬、刈谷　和弘、
佐藤　一明、大倉　一男、五十嵐大介、坂上　英行、竹松　　譲、高橋　　誠、
涌井　秀行、岩城　祐一、松田　　渉、氏田　　勇、阿部　信一、村井　卓也、
須田　俊勝、井嶋　朋美

（３）出席理事（５名）
副　会　長：荻荘　　誠、坂上　　昭、大森　　豪、高田　章子
常 務 理 事：大坂　一男
（４）出席監事（１名）
廣川　俊司
（５）議案説明及び報告
伊藤事務局次長

定刻、冒頭に中原会長が公務により欠席のため、荻荘副会長が挨拶を述べた後、議長は公益財団法人新潟市スポーツ協会（以下本協会という）定款第１８条第２項により荻荘副会長が議長となり、開会を宣言した。事務局は、評議員現在数５０名、うち出席者３０名、欠席者２０名により、本協会定款第１９条第１項にもとづき、本評議員会は適法にして有効に成立している旨、報告を行なった。

議長は、本協会定款第２０条第２項にもとづき、議事録記名押印人は議長及び出席した評議員の中から２名であることを告げ、次の評議員を指名し、両氏はこれを承諾した。

評議員　　田中　　量
評議員　　近藤　泰則

５．議決事項
第１号議案　令和７年度事業計画
第２号議案　令和７年度収支予算
第３号議案　監事の補欠選任について

６．議事顛末
第１号議案　令和７年度事業計画
第２号議案　令和７年度収支予算
議長は第１号および第２号議案について関連があるため、一括して上程。
はじめに、伊藤事務局次長は事業概要と事業計画策定のポイントを説明したのち、事業計画および収支予算を議案書および資料により説明を行った。
本議案について以下のとおり質疑があった。
（玉木評議員）スポーツ体験フェスタの体験会を通じて、実際に入会まで繋がったケースなど実績は把握しているか。
（伊藤次長）参加者への任意のアンケート調査により実態把握に努めている。競技に取り組みたいと考えている方は一定数いるが、まだ取り組みが必要と感じているので、どうしたら続けてもらえるか今後検討していく。

（山崎評議員）表彰事業について、一般の選手はスポーツグランプリの表彰しかなく、オリンピアンなど注目されやすいメジャーなスポーツが対象となっている。大学生や一般でも活躍している選手も多いので、一般選手の表彰制度も今後検討してほしい。
（伊藤次長）現行の規程では表彰できないが、評議員会で意見があったということで総務委員会に報告させていただく。
（坂上副会長）スポーツチャンバラ協会では、表彰規程は設けていないのか。バドミントン協会では表彰規程があり、市が表彰しない場合でも協会内で表彰している。
（山崎評議員）協会内では表彰規程は設けていない。市から表彰された方が選手たちのモチベーションにも繋がると考える。

個別に審議をおこなった結果、第１号議案および第２号議案は、満場一致をもって可決された。

第３号議案　**監事の補欠選任について**

議長は、第３号議案について上程。伊藤事務局次長は、令和７年３月３１日付で辞任する廣川　俊司　監事の補欠選任について、曽根　千恵子　氏を候補者とする旨を提案した。　※任期は、定款第２５条第２項及び第３項により前任者の任期を引き継ぐものとする。

審議の結果、本議案は満場一致により可決された。

７．その他

柴田評議員より、部活動地域移行で道場（クラブ）が活動の受け皿となる場合、中体連が主催する全国大会への監督・選手の旅費補助制度があるか質問があり、中体連の吉村評議員は現状では旅費は出ないことを説明した。

以上をもって議案の審議等を終了したので、１６時５０分、議長は閉会を宣して解散した。

上記の決議を明確にするため、議長及び議長の指名した出席評議員は次に記名押印する。

令和７年３月２６日

公益財団法人新潟市スポーツ協会　令和６年度第２回評議員会

議　長　　荻　荘　　誠

評議員　　田　中　　量

評議員　　近　藤　　泰　則